

Y01a 国立天文台「科学文化形成ユニット」の総括

縣 秀彦, 内藤誠一郎, 三上真世, 並河正人, 林 満, 平井 明, 立石直子ほか (国立天文台 天文情報センター 科学文化形成ユニット一同)

国立天文台は、三鷹市と連携して平成 19 年度より文部科学省科学技術振興調整費〈地域再生人材創出拠点の形成〉に採択され、「宇宙映像利用による科学文化形成ユニット」を実施してきた。国立天文台天文情報センターのサブプロジェクト「科学文化形成ユニット」は、本事業を遂行するための期限付きプロジェクトである。本事業は、国立天文台が所有する 4 次元デジタル宇宙映像やすばる望遠鏡の画像等の研究資源を他研究分野や映像文化において、次世代映像として活用する人材の養成を主目的として始まり、さらには、天文学をはじめとする科学文化の形成が、市民生活の質の向上に貢献することをめざしてきた。その中核である人材創出事業として、科学映像クリエイター養成、科学プロデューサー養成の 2 つのコースを実施してきた。5 年目(平成 23 年度)前期までで科学映像クリエイターを 26 名、科学プロデューサーを 64 名養成した。5 年目終了時の養成修了者目標数は、科学映像クリエイターが 36 名、科学プロデューサーが 72 名の合計 108 名である。修了生のうち、平成 23 年 12 月 1 日現在、国立天文台での雇用契約職員が 5 名、三鷹市関係で 2 名いる。三鷹市内で新たな活動を開始した者は、修了生のうちほぼ半数にあたり修了後に就職・起業・新規事業創生などに成果をあげつつある。また、修了生の活躍の場の創出として、国際科学映像祭、東京国際科学フェスティバルを提案し活動を組織化している。本講演では、5 年間の活動を総括し、科学文化の今後の発展について考察する。

参考 URL : 科学文化形成ユニット <http://prc.nao.ac.jp/ashub/> 東京国際科学フェスティバル <http://tokyo.sci-fest.net/> 国際科学映像祭 <http://image.sci-fest.net/>